

日常を支える

上下水道のはなし

発行：令和6年10月

瀬戸市役所水道課・下水道課

水道のはなし



「安心して安全な水をいつまでも」を基本理念として、令和5年7月に「瀬戸市新水道ビジョン」を策定しました。その中で、わかりやすい情報の発信に取り組むこととしています。

そこで、みなさんにもっと水道のことを知っていただくために広報をはじめます！

税金は使って
いません

水道事業は水道料金収入で経営しています

市民の
みなさん

水道事業

一般家庭平均

(口径20mm・2か月32㎡使用)

2か月で4,301円

(広報発行時点)

水道料金の
支払い

市水と県水

市で水を

つくる：25%

県がつくった

水を買う：75%



水を使う



水質管理・水を配る

毎日水質を検査して

配っています

安全で安心な
水の提供

水道管等の整備

市内の水道管

全長約765km

直線距離で

瀬戸～函館

ぐらい



経営状況について (2つの財布)



1 ご家庭に水を届けるための費用と財源

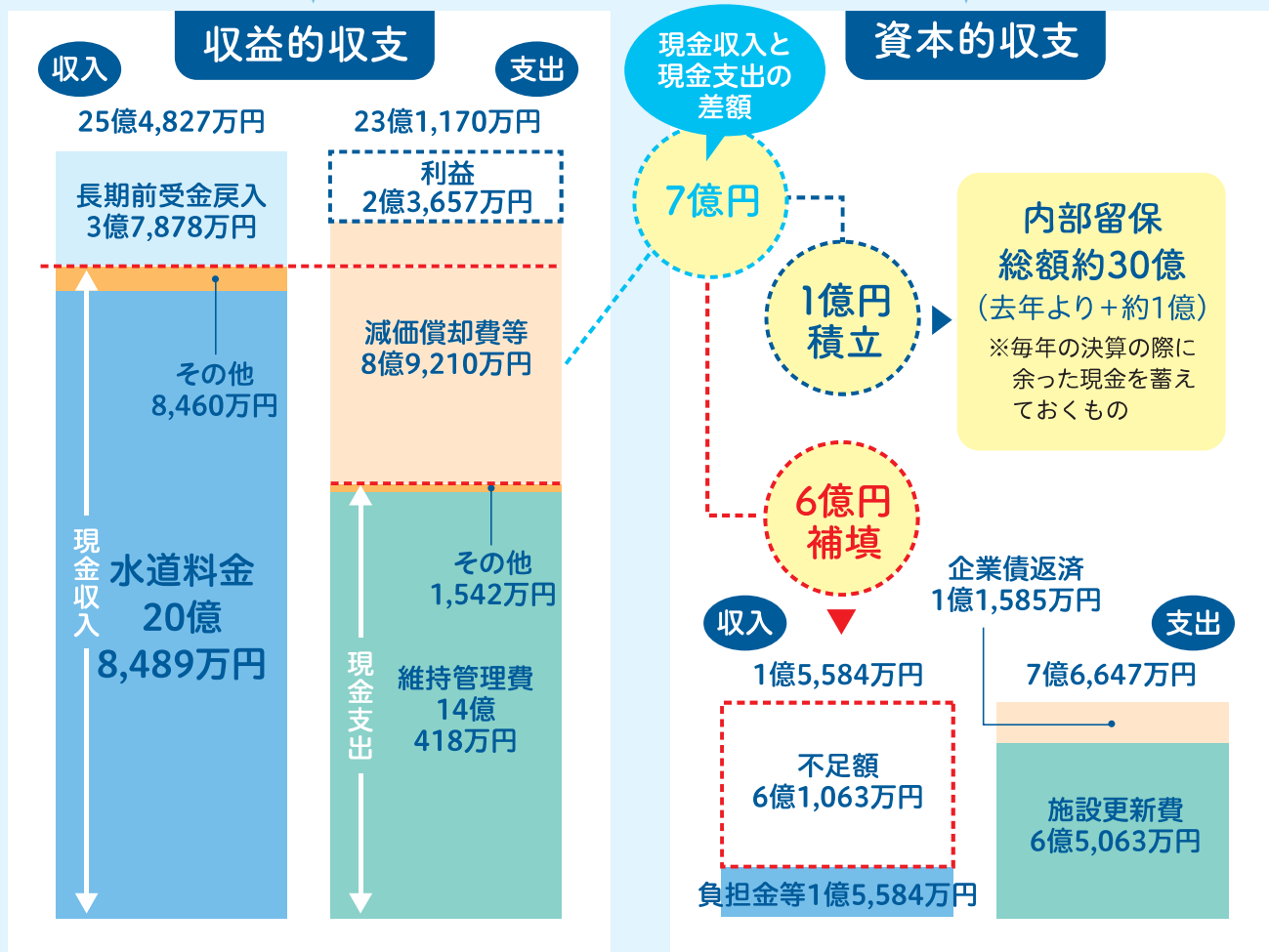
家計に例えると、毎月の給料などの収入や、食費や光熱水費などの出費といった、日常生活に係る部分です。



2 水道施設を整備するための費用と財源

家計に例えると、ローンの借り入れによる収入や、家・車の購入などの出費といった複数年使い続ける資産に係る部分です。

令和5年度決算の概要



※各項目単位未満を四捨五入して表示しているため、合計などが一致しない場合があります。

令和5年度の経営状況について

昨年と比べ、水道料金が減少、水道施設の維持管理費が増加したため、経営が悪化しています。しかし、工事をくりこした影響で、約3億円の支出がくりこしとなり内部留保は一時的に増加しました。



結局のところどうなの？

家計に例えると

去年より給料が減った。一方で、家や車の維持費が増えた。そのため家計が苦しくなった。だけど、買替えた車の納車が遅れて、支払いが来年に延びた、というイメージです。

もっと詳しい決算状況が知りたい方はこちら▶▶▶



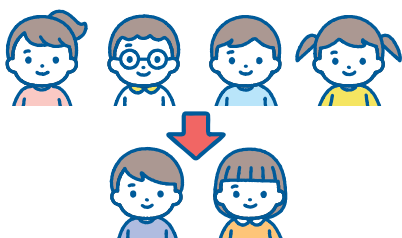
減価償却費とは⇒長年使う資産の取得費用を、耐用年数に応じて費用化した、現金を伴わない費用です。

長期前受金戻入とは⇒長年使う資産の取得時に交付された補助金等を、減価償却費と同様に収益化した、現金を伴わない収益です。



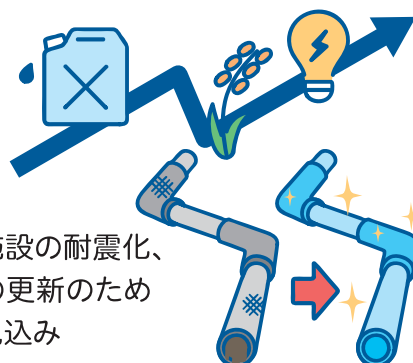
これからの経営状況の見通しについて

収入減少



人口減少や節水機器の普及で使う水の量が減って収入は減少見込み

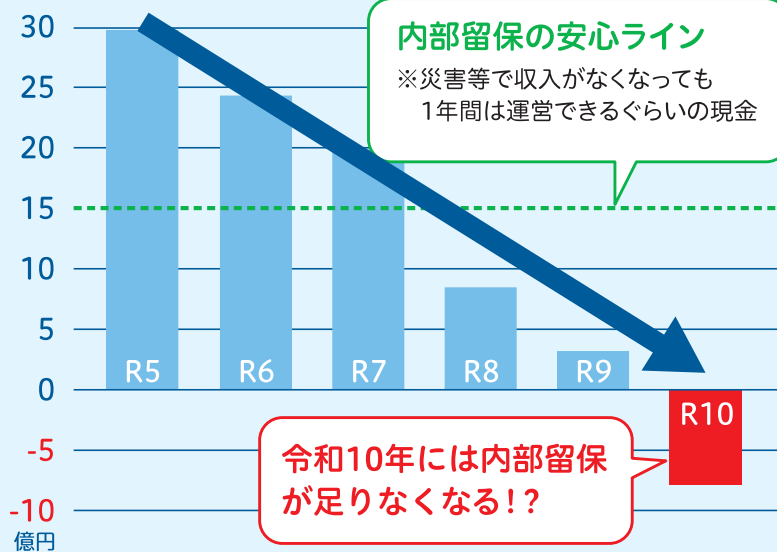
支出増加



物価高騰や施設の耐震化、古い水道管の更新のため支出は増加見込み



内部留保の見通し



内部留保がなくなったらどうなる?

古い施設の更新や水道管の耐震化ができなくなってしまいます。それでもやらなければならない工事があるので、借金する必要があります。利息返済の負担が増えてしまいます。

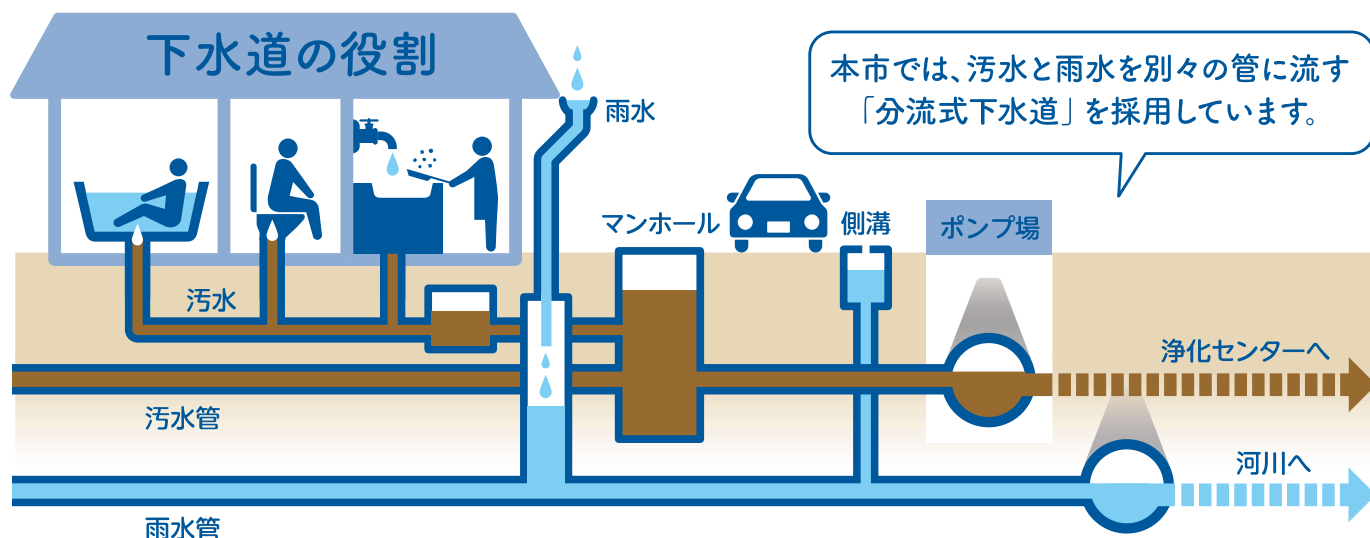
どうする?

「瀬戸市水道事業経営審議会」を設置し、学識経験者や水道使用者の方々が、経営状況の検証や話し合いを行っています。

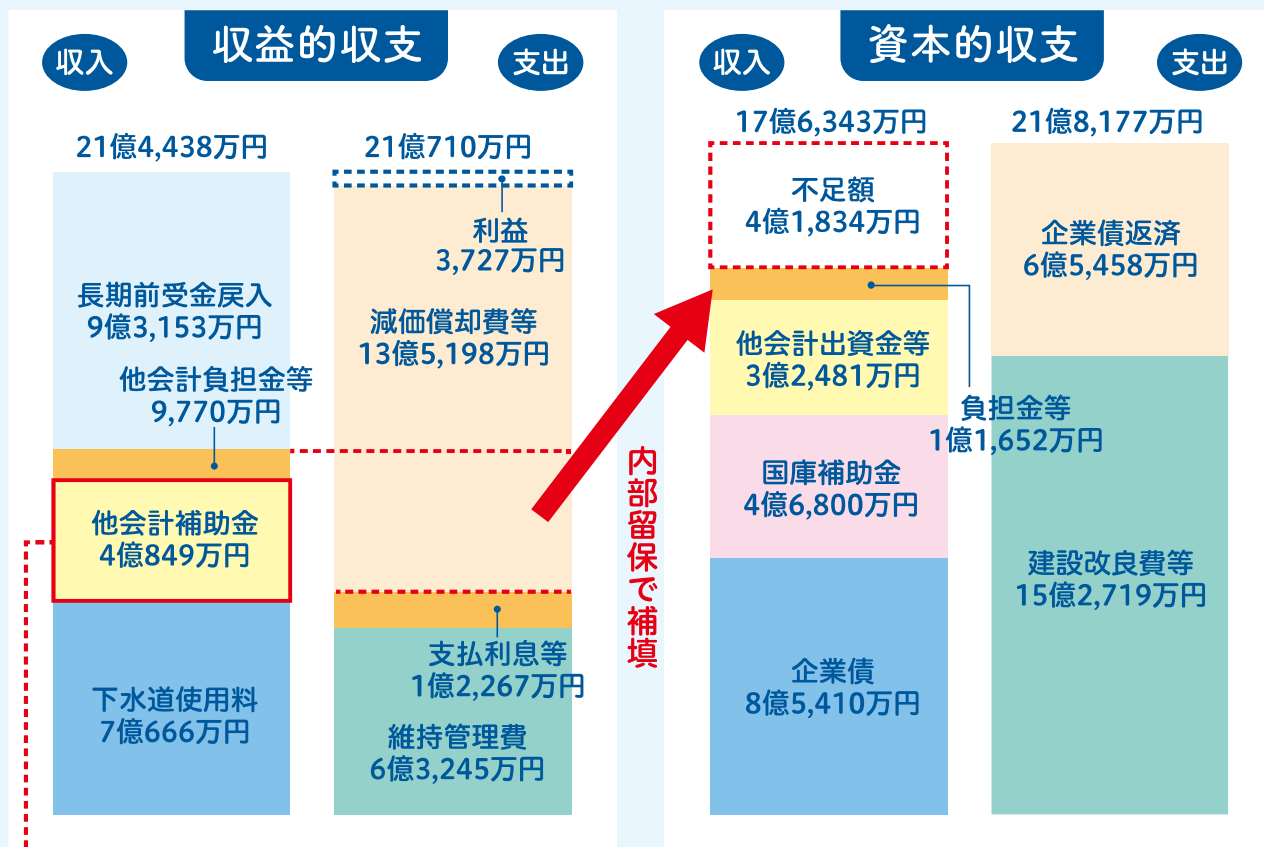
令和6年度は適正な水道料金の水準等について検討をしています。



下水道のはなし



令和5年度決算の概要



※各項目単位未満を四捨五入して表示しているため、合計などが一致しない場合があります。

収益的収支について、支出に対する収入は本来下水道使用料を充てるべきですが、不足しているため税金（他会計補助金）を投入しています。

そこで

令和7年3月検針分から下水道使用料を改定します

詳しくは広報せと9月号や瀬戸市ホームページをご確認ください。▶▶▶

